

1. 大会名称

令和7年度 四国大学サッカー新人戦
(兼 第9回 全日本大学サッカー新人戦 四国地区予選会)

2. 主催

一般社団法人四国サッカー協会 四国大学サッカー連盟

3. 主管

一般社団法人高知県サッカー協会 一般社団法人愛媛県サッカー協会
一般社団法人香川県サッカー協会 一般社団法人徳島県サッカー協会

4. 期日

令和7年6月28日(土)~11月1日(土) 原則、期日内開催

5. 会場

別途、トーナメント表に定める。

6. 参加資格

(公財)日本サッカー協会並びに(一財)全日本大学サッカー連盟に登録されている単独大学を以て構成されたチームであって、当該年度の1、2年生に限り、人数不足等により3、4年生を出場させる場合は、決勝トーナメントへの出場は不可とし、当該チーム以外の上位チームで決勝トーナメントを行う。また、次の資格を有するチームに限る。

- (1) 当該年度(公財)日本サッカー協会並びに(一財)全日本大学サッカー連盟に登録手続きを完了し、会費納入済のチームに限る。
- (2) チームを構成する選手の中に外国籍を有する選手を含む場合は、大会エントリー30名中5名以内とし、試合エントリー・出場とも常時5名以内とする。また、(公財)日本サッカー協会が定める準加盟チームについてはこの限りではない。
- (3) 参加する選手は(公財)日本サッカー協会並びに(一財)全日本大学サッカー連盟に登録済みの者に限る。また、(公財)日本サッカー協会選手証を携行しなければならない。
- (4) 出場資格に疑義のある場合は、四国大学サッカー連盟理事会で協議し、全日本大学サッカー連盟に報告を行う。
- (5) オーバーエイジ(3、4年生)については、あくまで1、2年生を優先的に出場させたくうえで許可するものとし、原則、出場3名、控え3名の計6名までとするが、部員数によってはこの限りではない。

7. 参加チーム

本連盟に属する全大学(今季リーグに参加している大学)に参加資格を有する。

8. グループリーグ順位決定

試合の勝者は3点、引分けは1点、敗者は0点の勝点が与えられ、勝ち点の多い順に順位を決定する。ただし、最終の合計勝点が同一の場合には、以下の順序により決定する。

- (1) フェアプレーポイント
- (2) 全試合のゴール・ディファレンス(総得点-総失点)
- (3) グループリーグ全試合の総得点の多いチーム
- (4) 該当チームの対戦成績(1勝1敗の場合は当該チームの試合の1)、2)の順序により決定する)
- (5) 上記4方式においても順位が同一の場合で順位を決定する必要がある場合は、当該チーム同士の再試合において決定する。

<フェアプレーポイント>

試合毎に各大学持点 3p

減点:一発退場 -3p(審判等に対する暴言による退場は-4p)

警告 -1p(審判等に対する異議による警告は-2p)

加点:試合毎で選定されるピースプロジェクト折り鶴賞獲得(フェアプレー)チームには1pを加算する。

※折り鶴賞は、各試合を担当した審判団により、フェアプレーチームを選出してもらい、両チームとも警告を受けた場合は該当なしとする。警告がなくとも双方に望ましくない言動などあれば該当なしとする。

※不測の事態で延期が相次いだ場合でも、最終延期日は11月10日までとする。(決勝トーナメント含む)

9. 試合方法

- (1) 参加チーム数によってグループ編成し、グループリーグを行い、上位4チームで決勝トーナメントを行う。
- (2) グループリーグの試合時間は90分とし、延長戦は行わない。
- (3) 決勝トーナメントの試合時間は90分とし、90分を終了して勝敗が決しない時は15分ハーフの延長戦を行う。尚、決しない時にはペナルティーキック方式により勝敗を決する。また、後半開始時刻は前半終了時点から15分後、延長戦は後半終了時点から5分後とする。優勝した1チームは全日本大学サッカー新人戦に出場する権利を有する。
- (4) 試合の競技規則は当該年度(公財)日本サッカー協会規定の競技規則による。

交代人数:競技開始前に登録した最大9名までの交代要員の中から7名までの交代が認められる。
交代回数:交代回数は3回を限度とする。GKの怪我による交代やハーフタイムの交代は回数に含まない。
なお、延長戦の場合は、交代枠を繰り越し、さらに1人の交代と1回の交代を追加できる。

- (5) 試合中主審により退場(同一試合警告2回での退場含む)を命じられた選手は、本大会(全国大会含む)の次の1試合に出場することができない。本大会のその後の処置については、本連盟理事会及び本連盟規律委員会に於いて決定する。また、本大会で出場停止試合が消化できなかった場合は、直近の公式戦(本連盟主催)にて消化する。当該年度内で消化できなかった場合は、次年度に繰越し、消化できず他チームに移籍する場合は、移籍先のチームが属するリーグ等で消化する。
- (6) 累積警告2回となった者は、自動的に本大会の次の試合に出場することができない。
- (7) 累積警告での出場停止及び累積された警告は、本予選会を持って効力を失う。
- (8) ベンチに入ることができる人数は交代要員9名、チーム役員7名の16名とし、メンバー提出用紙に特定されなければならない。

10. ユニフォーム

- (1) ユニフォーム(シャツ、パンツ、ストッキング)は正のほか副として正と異なる色のユニフォームを登録表に掲載し、必ず携帯すること。
- (2) 原則としてホームチームを正のユニフォームとする。
- (3) 審判と同一または、黒色に類似するユニフォームを用いることはできない。
- (4) ストッキングに巻くテープはストッキングと同色とし、ストッキングを切って使用する場合は、その下に履くものも同色とするか、それが適わない場合は見えないようにテープを巻くこととする。

11. 大会使用球

MIKASA FT550B-YP-JUFA

12. 表彰

【チーム】1位 賞状・優勝杯 2位 賞状

13. 審判派遣

1 チームにつき、3級審判員1名以上、4級審判員2名以上を本大会に登録させなければならない。主審は3級以上の審判員であることが望ましいが、それが適わない場合は、自大学の監督またはそれに代わる代表者に確認のうえ、責任をもって派遣すること。上記を満たしていない大学に関しては原則参加を認めない。

但し、新規参入チームについては別途、大会本部で協議のうえの決定するものとする。

- ・原則、出身大学の所在県の試合を担当する。
- ・自大学の審判は割り当てないように配慮する。これが適わない場合は、当該対戦チーム同士で審判を行う。
- ・当該対戦チームで審判を行う場合は、組合せの左が主審とA2、右がA1を担当する。
- ・審判を担当する者は大会開催前に、規律・フェアプレー委員会のまとめる審判登録派遣制度に登録する。
- ・決勝トーナメントの審判は、それまでの評価が高い者の中からフェアプレー規律委員会にて検討し、学生幹事会にて決定する。
- ・ベストレフェリー賞は、インディペンデンスリーグ四国での評価と合わせての結果で対象者を決定する。

14. 懲罰

本大会は、JFA「懲罰規程」に則り、大会規律委員会を設置し、本大会における懲罰事案・裁定事案については、大会規律委員会で懲罰案を起案し、日本FA規律委員会から懲罰権の委任を受けた四国FA規律委員会が懲罰を科すものとする。

15. その他

- ・命にかかわる重大な事案が発生した場合に備えて、保護者の連絡先一覧を必ず試合に携帯すること。
- ・自然災害、交通事故等で移動が困難な場合は、試合を遅延もしくは延期にすることがある。なお、その場合は、緊急時連絡先(理事長または事務局長)に連絡をする。
- ・雷等による試合中止の取り扱いについては、原則、中止時点からの試合再開をする。
- ・試合を遅延する場合は、原則30分まで(ただし、会場確保状況による)とする。
- ・大会期間中の事故等について、主催者側は一切責任を負わない。万一に備えて傷害保険に加入しておくこと。
- ・各チームは、当該年度の選手証を必ず持参すること。
- ・運営大学は、試合の結果を試合終了後3時間以内に四国内の各新聞社並びに全大学に報告すること。

16. 参加費

60,000円(不足の場合は追加で徴収する場合がある。参加チーム数によって)

※ 大会終了後、12月末までに精算する。

17. 参加申込

<大会参加意思表明>4月末日とし、部員不足で学生審判員の派遣が困難な大学は合わせて連絡すること。

- ①参加申込書に登録できる選手数は30名とする。
- ②参加申込期限後における選手の変更は、試合3日前の15時までに選手変更届を提出すること。
- ③参加申込書の背番号は、番号と同様に若い番号順に記入すること。

- ④所定の参加申込書に必要事項を記入の上、データ形式にてメールで申し込みすること。
- ⑤参加申込締切後の背番号変更はできません。ただし、ユニホームの破損等による変更は可とする。
- ⑥派遣する学生審判員は、各試合のエントリー締切(3日前15時)までに、各大学の学生審判部員が責任を持って提出すること。
- ⑦決勝トーナメントおよび全国大会出場については、理事会の承認を得て辞退を認める場合がある。辞退を認めた場合の繰上げ出場は、繰上げ該当大学の意向を踏まえ、理事会により検討する。

E-mail:JUFA 四国理事
JUFA 四国学生幹事

【申込期限】 令和7年6月25日(水)15:00 必着